

Tokyo, Japan – 10 July 2018

Press release

中小企業向け事業保険のエヌエヌ生命 高校生のためのソーシャルビジネス企画コンテスト 「Social Innovation Relay 2017/18」国際大会を実施 日本代表チーム・京都府立洛北高等学校「AmaFessional」3位入賞

生命保険を通じて日本の中小企業を応援するエヌエヌ生命保険株式会社(代表取締役社長:フランク・エイシク、本社:東京都千代田区、以下「エヌエヌ生命」)は、2018年6月19日に公益団体ジュニア・アチーブメント日本と共催する高校生のためのソーシャルビジネス企画コンテスト「Social Innovation Relay 2017/18(ソーシャルイノベーション・リレー)」の国際大会を実施し、入賞チームを決定しました。

当大会は、学生自らが身の回りにおける課題を見つけ、ソーシャルビジネスとして解決すべくアイデアを国内外の高校生たちと競うコンテストとして、2015年より行っています。大会の特長として、全参加は、与えられた持ち時間の中で、自ら生み出したビジネスアイデアをオンラインビデオ越しに、英語でプレゼンテーション形式で披露し、そのアイデアやプレゼンテーションスキルを競うものです。



大会当日は、日本のほかハンガリー、シンガポール、ルーマニア、チェコ、ポーランド、スペイン、ギリシャ、オランダ、ブルガリアの10カ国から、それぞれ国内大会を勝ち抜いた同世代の仲間たちとアイデアを競い合いました。どのチームも英語での見事なプレゼンテーションはもちろんのこと、パワーポイントで工夫を凝らした資料と、独創的なビジネスアイデアで、審査員を驚かせていました。

その中で、日本代表として大会に臨んだ京都府立洛北高等学校「AmaFessional」の生徒2名は、世界中の誰もがいつでも、どこでも無料で使える多言語対応のオンライン学習共有プラットフォームの開発と普及を行うビジネスアイデアを提案し、結果、強豪チームを抑え、シンガポール、スペインの代表に続き、見事3位を獲得しました。

具体的には、国を問うことなく教員らの授業の動画閲覧だけでなく、学生たちによる教材やノートの共有や質問・議論を通じた学び合いの機会を、プラットフォームを通じて提供するというアイデアです。当プラットフォームを普及させることで、日本をはじめ世界の政治的に困難な地域や経済的に厳しい状況におかれている子どもたちに平等な教育機会を提供したい、との思いから創りあげられたビジネスで、ITを駆使した課題解決も評価されました。



入賞した京都府立洛北高等学校「AmaFessional」チームの梅澤 凌我^{うめざわ りょうが}さん(左)と芦田 航一^{あした こういち}さん(右)
(左写真はプレゼンしている様子)

京都府立洛北高等学校「AmaFessional」チーム・梅澤^{うめざわ} 凌我^{りょうが}さんと芦田^{あした} 航一^{こういち}さんのコメント:

「世界 10 チーム中 3 位入賞という結果を得ることができ、本当に嬉しいです。教育格差という世界的な問題に対して、AmaFessional が大きな変革をもたらし得るということを伝えられたのではないかと思います。この結果は、たくさんのメンターの方々にアドバイスを頂いたおかげです。例えば、どこを拠点にビジネスを進めていくのかや、収支計画の問題など、私たちだけではなかなか想像しにくい部分にアドバイスを頂き、とても参考になりました。ビジネスの現実可能性を検討しつつ、新鮮さを失わないアイデアにまとめ上げるのは大変でしたが、二人で時間を掛けて話し合っ、完成させることができました。当日の発表は、とても緊張しました。質問も聞き取れない所が多く、自分の英語力の拙さを痛感しました。他チームの発表は刺激的で、直接話をする時間がなかったのが残念に思われるくらいでした。自分たちのアイデアも含めて、ソーシャルメディアやアプリを使って人と人を繋げたり、人の意識を拡張するようなアイデアが多く、インターネットを利用したサービスに潜在的な可能性を感じました。今回の経験は、自分に自信を持ちつつも、さらに優秀な人たちが広い世界にたくさんいるのだということを忘れてはいけないということを教えてくれた、非常に価値のあるものでした。これからも社会に潜む様々な問題に積極的に目を向け続け、自分は何が出来るのかということを考えたいと思います。」(芦田さん)

「この度、Social Innovation Relay の世界大会に日本代表として出場し、世界 3 位をいただけたことに、この上ない驚きと喜びを感じています。中学三年生の時にこの大会を知って以来、絶対出ようと考えていた SIR。正直、自分たちが世界大会に出るなんて夢にも思っていませんでした。今回、私たちが提案させていただいたソーシャルビジネス、AmaFessional はこの大会に出るにあたって考え始めたものではありません。日々の生活の中で、『誰もが自分の得意なことを共有しそれを誰かのために活かせる場所があれば面白いな』と思ったのがはじまりです。Social Innovation Relay はそんな僕の一つの思いつきにすぎないアイデアをここまで成長させ、世界に発信する機会を与えてくれました。この半年間、ビジネスをブラッシュアップしていくにあたって様々な壁や問題にもぶつかりました。時には自分たちの軸となるコンセプトを折りそうにもなりました。しかし、メンターさんからの多大なるご支援もあって、自分たちのアイデアを多くの人に届けたいという気持ちで前に進めていくことができました。英語のネイティブでもなければ帰国子女でもない、ただの地方の公立高校に通う高校生がここまでできたのは、本当にこのサポートがあつてこそだと思っています。僕の将来の夢は、実業家として機会の不平等が痛みを生み出さない社会をつくっていくことです。SIR はそんな僕にとって本当に素晴らしい経験を与えてくれました。これからも SIR で学んだことを忘れずに自分の目標に向かって毎日を過ごして行きたいと思います。」(梅澤さん)

当国際大会の詳細は、www.sir.jaeurope.org よりご覧ください。

ご参考:

□ ジュニア・アチーブメントについて

1919年に米国で発足した世界最大の経済教育団体で、民間の非営利活動を展開しています。日本本部は1995年に設立。以来、教材を導入する学校が全国に拡大しています。社会情勢がいかように変化しようとも、子どもたちが自身の確たる意志で進路や将来を選択・設計できるよう、「社会の仕組み」や「経済の動き」を正しく理解する機会を提供し、基本的資質(主体的に社会で自立できる力)を育む支援を続けています。詳しくは、ウェブサイト www.ja-japan.org をご参照下さい。

□ エヌエヌ生命の社会貢献活動「未来の社長」について

エヌエヌ生命は、「未来の社長」を社会貢献活動のテーマに据えています。日本の中小企業を支える生命保険会社として、次世代を継ぐ学生や子どもたちに教育機会や起業・経営に関する育成機会の創出を目指しています。「SIR」の取り組みのほか、NAHA マラソンチャリティ・ランナーによる沖縄の児童擁護施設への教育支援、経済的に困難な状況にある家庭の子どもたちの学習を支援する NPO 法人「キッズドア」を通じた教育支援活動、および、次世代の経営者に向けた「継ぐ(つぐ)をつなぐ ～家業イノベーションラボ」のプログラムを展開しております。詳しくはこちらをご覧ください。
ウェブサイト <https://www.nnlife.co.jp/company/community> をご参照下さい。

本件に関する問い合わせ先

エヌエヌ生命保険株式会社 広報部 TEL:03-5210-5599 FAX:03-6685-7700

エヌエヌ生命は、オランダにルーツを持ち、170年におよぶ伝統を誇る NN グループの一員です。NN グループは、欧州および日本を主な拠点とし、18カ国以上にわたり、保険および資産運用事業を展開しています。その名は、源流である「ナショナル・ネーデルランデン」に由来しています。エヌエヌ生命は、1986年に日本で初めてのヨーロッパ生まれの生命保険会社として営業を開始して以来、30年以上にわたり、中小企業とその経営者が財務や財産の面で安定した将来を確保できるよう支援しております。